

GERHARD OPPITZ

ゲルハルト・オピッツ

プレミアム・ピアノ・リサイタル

Premium Piano Recital



B

eethoven
&
rahms

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13 《悲愴》

ブラームス：6つの小品 op.118

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 《月光》

ブラームス：ピアノ・ソナタ 第3番 ヘ短調 op.5

© Concerto Winderstein

2026 **11.7** (土) 14:00 開演 (13:00 開場) **ザ・シンフォニーホール**
全席指定 S 8,800円 A 5,500円 (税込) 主催：ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

公演の詳細は
こちら▶▶▶



プレイガイド

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯) ■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード: 55639]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 325-951]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

ゲルハルト・オピッツ プレミアム・ピアノ・リサイタル

ドイツの伝統を継承するオピッツが紡ぐいぶし銀のベートーヴェンとブラームス

ゲルハルト・オピッツのリサイタルが2年ぶりに実現する。1953年バイエルン州生れ。地元の音楽大学で学んだ後、かのヴィルヘルム・ケンプに師事しドイツ音楽の伝統を受け継いだ正統派だ。1979年の初来日以来、親日家の彼はたびたび日本を訪れ優れた演奏を繰り広げてきた。今回の来日公演では、全曲演奏ツィクルスも行い絶賛されているベートーヴェンのソナタから「悲愴」と「月光」を、やはり十八番のブラームスからスケールの大きな「ソナタ第3番」と晩年の傑作「6つの小品 op.118」を並べた。新しい個性的なアーティストが次々と出現するいまの時代だからこそ、オピッツの持つ滋味深さと円熟が際立つはずだ。まさにドイツ王道プログラム、じっくりと耳を傾けたい。期待は高まるばかりだ。

城間 勉(音楽ライター)

[ピアノ]ゲルハルト・オピッツ Gerhard Oppitz, Piano

ドイツ・ピアノ界の正統派を代表する演奏家。音楽解釈におけるこの楽派の流れは、オピッツ自身の師であるヴィルヘルム・ケンプに繋がり、その源流はリストやベートーヴェンにまで直接遡る。1953年、バイエルン州生まれ。パウル・バックに師事した後、1973年にヴィルヘルム・ケンプと出会い、教えを受けるようになる。自身の解釈との著しい相似性に感服したケンプの遺志により、オピッツは後継者として音楽的伝統を引き継ぐこととなった。1977年、第2回アルトウール・ルービンシュタイン・コンクールで第1位となり、一躍世界的に脚光を浴びる。翌年には、名門ドイツ・グラモフォンより最初のレコードをリリース。これまでに、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響等の著名オーケストラと、カルロ・マリア・ジュリーニ、ロリン・マゼール、ズーピン・メータ、サー・コリン・デイヴィス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ホルスト・シュタイン、サー・ネヴィル・マリナー、ヘルベルト・ブロムシュテット、ドミトリー・キタエンコ、ガリー・ベルティエ二等の指揮者と共演している。とりわけリツカルド・ムーティからの信頼は厚く、世界各地で共演を重ねており、2016年にはザルツブルク音楽祭でウィーン・フィルと共演し絶賛された。幅広いレパートリーを持ち、ベートーヴェンとブラームスに関しては、世界最高の演奏者の一人として確固たる地位を確立している。発売されたCDは80枚を超え、1989~1997年にBMG/RCAと専属契約を結んだり、最近ではヘンスラー・レーベルから、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集に続き、シューベルトのピアノ作品集(全12枚)がリリースされた。日本では1994年、NHKテレビのベートーヴェン・ソナタの演奏およびレッスンが爆発的人気を呼んだ。親日家でもあり、日本で最も人気のあるピアニストの一人である。



©HT/PCM

ザ・シンフォニーホールの最新情報をチェック!



Instagram



X



Facebook



Youtube

マルティン・ガルシア・ガルシア ピアノ・リサイタル

2026 10/12 (月・祝) 全席指定 6,000円(税込)
14:00開演 (13:00開場)

ザ・シンフォニーホール 主催: ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

© Fadil Berisha

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonycall.jp>

2021年、 ショパン国際ピアノ・コンクール 第3位

ショパン: バラード 第2番 へ長調 op.38

スケルツォ 第4番 ホ長調 op.54

スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 op.39

3つのマズルカ op.63

バラード 第4番 へ短調 op.52

リスト: 尼僧院の僧房 S.534

伝説 S.175より 第2曲

「水の上を歩くパオラの聖フランチェスコ」

ピアノ・ソナタ ロ短調 S.178